



2020年4月10日

各位

会社名 株式会社 チョダ
 代表者名 代表取締役社長 澤木 祥二
 (コード番号 8185 東証第一部)
 問合せ先 経理部長 井上 裕一郎
 (TEL. 03-5335-4142)

特別損失の計上及び2020年2月期通期業績予想値と実績値との差異について

特別損失の計上及び2020年1月10日に公表しました2020年2月期通期業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

2020年2月期通期連結業績予想値と実績値の差異(2019年3月1日～2020年2月29日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり当期 純利益(円)
前回発表予想(A)	113,800	△1,600	△1,100	△2,500	△70.18
実績値(B)	113,530	△1,231	△669	△1,643	△46.15
増減額(B-A)	△270	369	431	857	—
増減率(%)	△0.2	—	—	—	—
(ご参考)前期通期実績 (2019年2月期)	118,568	1,669	2,266	1,613	45.04

2020年2月期通期個別業績予想値と実績値の差異(2019年3月1日～2020年2月29日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期 純利益(円)
前回発表予想(A)	88,200	700	△700	△19.65
実績値(B)	87,919	898	△2	△0.08
増減額(B-A)	△281	198	698	—
増減率(%)	△0.3	28.3	—	—
(ご参考)前期通期実績 (2019年2月期)	90,522	3,552	3,595	100.36

1、特別損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、個別では、特別損失の計上を2020年2月期第4四半期会計期間において227百万円を行い、合計で758百万円計上しました。連結では、2020年2月期第4四半期会計期間において550百万円を行い、合計で1,356百万円計上しました。

2、差異の理由

個別業績では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2月の中旬以降の売上が大幅に落ち込み、売上高は前回予想を下回りましたが、商品評価損が見積もり額を下回ったことで、経常利益は前回予想を上回りました。また、店舗の固定資産の減損損失が想定を約3億円下回ったことに加えて、繰延税金資産を約1億円積み増したことで、当期純利益も前回予想を上回り、通期業績予想と実績値の差異が発生しました。

子会社(株)マックハウスでは、売上は前回の予想通りに推移し、販売費一般管理費の削減効果により、営業利益、経常利益、当期純利益が前回予想を上回りました。これらにより、連結通期業績予想も実績値と差異が発生しました。